



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月8日

玉井商船

上場会社名 玉井商船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9127 URL http://www.tamaiship.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 展雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 木原 豊 (TEL) 03-5439-0260
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,607	10.3	98	—	69	—	124	—
30年3月期第2四半期	2,362	35.6	△19	—	△72	—	△60	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 134百万円(—%) 30年3月期第2四半期 △7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	64.34	—
30年3月期第2四半期	△31.57	—

※当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	12,548	4,722	36.2
30年3月期	12,899	4,590	34.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 4,542百万円 30年3月期 4,410百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・31年3月期末配当予想額は、現時点では引続き未定です。

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,400	7.8	230	—	160	—	940	486.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	1,932,000株	30年3月期	1,932,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	1,493株	30年3月期	1,401株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	1,930,557株	30年3月期2Q	1,930,679株

※当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の連結業績予想について)

当社は、平成30年6月26日開催の第109回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成31年3月期の連結業績予想は以下の通りとなります。

・平成31年3月期 連結業績予想(1株当たり当期純利益) 48.69円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、前連結会計年度同様に全体として良好な経済成長が継続しました。先進国については、米国と中国の貿易摩擦に対する不安や、EU圏諸国の経済に対する不安、さらにはBREXITに対する不安等が継続していますが、米国経済の順調な発展に伴い全体としては良好でした。また、新興市場国と開発途上国については、中国の経済発展は順調に継続しているようであり政策による後押しが堅調に続くことが期待され、他の新興国では、エネルギー輸出国に関しては少しずつ改善を続けましたが、一部の輸入国ではペースダウンしています。特にアルゼンチン、ブラジル、トルコでは、経済活動が著しく減速しました。さらに地政学的リスクが継続中の地域もありますが、全体としては穏やかな拡大基調を維持しており、今後さらなる成長が期待されます。一方、わが国の経済も、世界景気拡大への期待感もあり、回復傾向にありますが、国内の政治的問題や、為替に対する不安、さらには世界経済悪化、異常気象による災害に対する不安等も依然として残っています。

外航ドライバルク船の海運市況としては、2016年2月に経験したバルチックインデックス始まって以来、未曾有の最悪の状態から依然として回復途上にありますが、今後時間の経過と共に現在予想される船舶竣工量と経済発展に伴う貿易量の拡大、さらには、中国、その他新興国の政策的また環境負荷軽減に伴い発生する見込みのさらなる船舶需給バランスの改善が継続するものと見込まれています。

この様な状況下、当社グループの外航海運部門では、安全と顧客のサービスを第一に、市況リスクと運航リスク、さらには環境負荷の軽減に全社で努力を傾注すると共に、太平洋と大西洋を結ぶトランスオーシャン輸送に当社所有の船舶を集中的に配船し、安全かつ経済的、効率的な輸送に努め、さらに新規カーゴの獲得に努力を傾注し、継続する市況悪化時の影響、異常気象、粗悪油その他の運航リスク等が存在しますが、今後更なる改善を目指しています。

この結果、営業収益は2,607百万円（対前第2四半期連結累計期間比244百万円、10.3%増）、営業利益は98百万円（前第2四半期連結累計期間19百万円の営業損失）、経常利益は69百万円（前第2四半期連結累計期間72百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は124百万円（前第2四半期連結累計期間60百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・外航海運業

支配船舶による北米からの輸入穀物、南米からの水酸化アルミや海外向けセメントクリンカー、スラグの輸送を行い、運航採算の向上に努めると共に、一部支配船舶の短期貸船により安定収益の確保を図りました

営業収益は、前第2四半期連結累計期間に比べ、航海数の増加や短期貸船の期間が増加した結果、2,133百万円（対前第2四半期連結累計期間比303百万円、16.6%増）となりました。営業利益面は、航海数の増加や燃料油価格の高騰等で営業費用が増加したものの、営業収益の増加が大きく、264百万円の営業利益（同158百万円、150.1%増）となりました。

・内航海運業

定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めると共に、所有船1隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。また船員を他社へ融通し派遣業収入を得ました。

営業収益は、船員を他社へ派遣しその他海運業収益が増加した一方、第1四半期連結累計期間において所有船1隻を売船した影響で貸船料が減少した結果、404百万円（対前第2四半期連結累計期間比△56百万円、12.3%減）となりました。営業利益面では、売却した船舶に係る入渠費用が前第2四半期連結累計期間にはあったものの、当第2四半期連結累計期間においては当該費用を含め営業費用全体が減少しましたが、営業収益の減少の影響が大きく、13百万円の営業利益（同△33百万円、72.0%減）となりました。

・不動産賃貸業

不動産賃貸業においては、営業収益は、69百万円（対前第2四半期連結累計期間比△2百万円、3.0%減）、営業利益は、29百万円（同9百万円、43.9%増）となりました。

（注）営業利益は配賦不能営業費用（208百万円）控除前のものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ351百万円減少し、12,548百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に貯蔵品、現金及び預金の増加などにより98百万円増加し、固定資産が主に有形固定資産の減価償却に伴い449百万円減少したことによるものです。負債は7,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ483百万円の減少となりました。これは、流動負債が主に1年内返済予定の長期借入金、前受金の減少などにより102百万円減少し、固定負債が、長期借入金の減少などで380百万円減少したことによるものです。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益124百万円などによる株主資本の増加126百万円、その他有価証券評価差額金の増加によるその他の包括利益累計額合計の増加5百万円などにより、前連結会計年度末に比べ131百万円増加し、4,722百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、営業活動の結果得られた資金457百万円、投資活動の結果得られた資金129百万円、財務活動の結果使用した資金566百万円などを加減した結果、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、639百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、457百万円（前第2四半期連結累計期間比310百万円の収入増）です。これは、税金等調整前四半期純利益200百万円が計上されているうえに、減価償却費467百万円などの非資金費用の調整などがあり、仕入債務の増加額97百万円、支払利息50百万円などの増加項目に、固定資産売却益131百万円、たな卸資産の増加額113百万円などの減少項目を加減した結果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、129百万円（前第2四半期連結累計期間比81百万円の収入減）です。これは、主に有形固定資産の売却による収入136百万円、有形固定資産の取得による支出9百万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、566百万円です。（前第2四半期連結累計期間比53百万円の支出増）です。これは、主に長期借入金の返済による支出545百万円、短期借入金の純減少額12百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間以降における業績見直しを行った結果、平成30年8月7日付当社「平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました平成31年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「平成31年3月期第2四半期（累計）業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	703,965	739,062
海運業未収金	190,020	193,881
貯蔵品	256,674	364,860
その他流動資産	327,758	278,980
流動資産合計	1,478,418	1,576,785
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	9,090,018	8,636,641
建物(純額)	258,788	251,165
器具及び備品(純額)	6,359	6,135
土地	168,638	168,638
建設仮勘定	585,000	585,000
その他有形固定資産(純額)	13,719	12,378
有形固定資産合計	10,122,523	9,659,959
無形固定資産	1,140	2,778
投資その他の資産		
投資有価証券	693,773	703,698
退職給付に係る資産	57,441	59,515
繰延税金資産	435,437	438,134
その他長期資産	110,729	107,389
投資その他の資産合計	1,297,381	1,308,737
固定資産合計	11,421,045	10,971,475
資産合計	12,899,463	12,548,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	216,067	313,786
短期借入金	62,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	1,865,323	1,747,148
未払法人税等	3,282	25,748
前受金	620,900	516,680
賞与引当金	27,126	27,349
その他流動負債	84,326	95,781
流動負債合計	2,879,026	2,776,495
固定負債		
長期借入金	4,340,438	3,913,466
繰延税金負債	689,179	744,436
特別修繕引当金	197,132	184,932
退職給付に係る負債	39,763	43,622
長期末払金	38,700	38,700
資産除去債務	13,143	13,253
その他固定負債	111,684	111,091
固定負債合計	5,430,040	5,049,502
負債合計	8,309,066	7,825,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	280,268	282,304
利益剰余金	3,196,137	3,320,342
自己株式	△1,702	△1,826
株主資本合計	4,176,704	4,302,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233,990	239,802
その他の包括利益累計額合計	233,990	239,802
非支配株主持分	179,703	179,640
純資産合計	4,590,397	4,722,263
負債純資産合計	12,899,463	12,548,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
海運業収益	2,291,178	2,537,659
海運業費用	2,136,089	2,257,508
海運業利益	155,088	280,151
その他事業収益	71,519	69,384
その他事業費用	26,447	20,094
その他事業利益	45,072	49,289
営業総利益	200,161	329,441
一般管理費	220,104	230,533
営業利益又は営業損失(△)	△19,943	98,908
営業外収益		
受取利息	423	363
受取配当金	15,907	10,574
為替差益	—	13,239
燃料油売却益	2,090	8,039
その他営業外収益	1,229	1,949
営業外収益合計	19,650	34,166
営業外費用		
支払利息	59,916	50,014
支払手数料	6,500	6,500
為替差損	5,835	—
その他営業外費用	331	7,230
営業外費用合計	72,583	63,745
経常利益又は経常損失(△)	△72,876	69,328
特別利益		
投資有価証券売却益	18,960	—
固定資産売却益	—	131,529
特別利益合計	18,960	131,529
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△53,915	200,858
法人税、住民税及び事業税	3,838	23,752
法人税等調整額	△145	49,372
法人税等合計	3,693	73,124
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57,609	127,733
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,333	3,528
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,942	124,204

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57,609	127,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,833	6,736
その他の包括利益合計	49,833	6,736
四半期包括利益	△7,775	134,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,337	130,017
非支配株主に係る四半期包括利益	4,561	4,452

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△53,915	200,858
減価償却費	467,353	467,145
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,822	223
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,012	1,785
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	38,400	△12,200
受取利息及び受取配当金	△16,331	△10,938
支払利息	59,916	50,014
支払手数料	6,500	6,500
為替差損益(△は益)	2,729	△14,069
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,977	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△131,529
売上債権の増減額(△は増加)	△3,509	△3,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,908	△113,403
その他の資産の増減額(△は増加)	△42,326	41,815
仕入債務の増減額(△は減少)	6,604	97,719
前受金の増減額(△は減少)	△260,783	△104,219
その他の負債の増減額(△は減少)	21,220	19,057
その他	△294	△15
小計	206,659	494,883
利息及び配当金の受取額	16,331	10,938
利息の支払額	△59,960	△50,211
法人税等の支払額	△15,566	2,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,463	457,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	169,717	—
有形固定資産の取得による支出	△2,560	△9,087
有形固定資産の売却による収入	—	136,857
無形固定資産の取得による支出	—	△1,950
投資有価証券の取得による支出	△599	—
投資有価証券の売却による収入	38,068	—
貸付金の回収による収入	1,305	1,125
その他	4,649	2,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	210,580	129,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,000	△12,000
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△535,174	△545,146
支払手数料	△6,500	△6,500
配当金の支払額	△918	△4
非支配株主への配当金の支払額	△1,480	△1,253
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,000
その他	—	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△512,073	△566,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,729	14,069
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△156,758	35,097
現金及び現金同等物の期首残高	566,068	603,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	409,309	639,062

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	1,830,416	460,761	71,519	2,362,698	—	2,362,698
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,830,416	460,761	71,519	2,362,698	—	2,362,698
セグメント利益	105,857	47,044	20,653	173,555	△193,498	△19,943

(注) 1 セグメント利益の調整額△193,498千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,133,565	404,094	69,384	2,607,044	—	2,607,044
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,133,565	404,094	69,384	2,607,044	—	2,607,044
セグメント利益	264,698	13,183	29,728	307,610	△208,702	98,908

(注) 1 セグメント利益の調整額△208,702千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

(1) 当社は、平成30年6月26日開催の第109回定時株主総会において、株式併合及び単元株式数の変更に関する議案が承認され、平成30年10月1日付でその効力が発生しております。

1. 株式併合の目的

全国の証券取引所では、売買単位を100株に統一するための取組みを推進しております。それを踏まえ、当社普通株式の売買単位である単元株式数を1,000株から100株に変更することとし、併せて、証券取引所が望ましいとしている投資単位の金額水準(5万円以上50万円未満)とすることを目的として、株式併合を実施しております。

2. 株式併合の割合及び時期

平成30年10月1日付をもって平成30年9月30日の株主名簿に記録された株主の所有株式数を10株につき1株の割合で併合する。

3. 株式併合により減少する株式数

株式併合前の発行済株式総数(平成30年9月30日現在)	19,320,000株
株式併合により減少する株式数	17,388,000株
株式併合後の発行済株式総数	1,932,000株

(2) 当社の連結子会社であるT.S. Central Shipping Co., Ltd.は、平成30年10月26日付で同社所有の撒積運搬船1隻の売却契約を締結いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 譲渡する相手先：海外の第三者法人
2. 譲渡資産：撒積運搬船「NIKKEI DRAGON」(載貨重量52,950トン、船齢9年)
3. 譲渡の時期：平成31年1月から3月
4. 譲渡利益：700,000千円

(注) 譲渡時期により、譲渡利益が変動する可能性があります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

前連結会計年度末において、借入金の一部について財務制限条項に抵触しましたが、金融機関から期限の利益喪失の権利行使猶予に対する同意を得ました。

当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しておりますが、当社の主力である外航海運業を中心に、安定収益の維持拡大及びコスト削減に努め、業績の回復に取り組んで参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、98,908千円の営業利益、69,328千円の経常利益を計上しており、通期でも黒字となる見込みです。

これらの状況を踏まえ、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。